

上級試験等 論文試験

1 一般行政（DX及び基礎能力検査枠を除く）

本県では令和5年3月に第3期となる「埼玉県スポーツ推進計画（令和5年度～令和9年度）」を策定し、「スポーツがはぐくむ 輝く埼玉」を基本理念に掲げ、スポーツの振興に取り組んでいる。

そこで、次の2点についてあなたの考えを900字以上1,100字以内で論じなさい。

- 1 スポーツの振興により、どのような社会課題の解決が期待できると考えるか。
- 2 その実現のために、行政はどのようなことに取り組んだらよいと考えるか。

2 小・中学校事務、警察事務

本県では、令和2年3月に全国初の「ケアラー支援条例」を制定し、県民、市町村、事業者、関係機関、民間支援団体等の多様な主体が相互に連携を図りながら、ケアラー※が孤立することのないよう、社会全体で支えていくために様々な施策を行っているところである。

そこで、次の2点についてあなたの考えを900字以上1,100字以内で論じなさい。

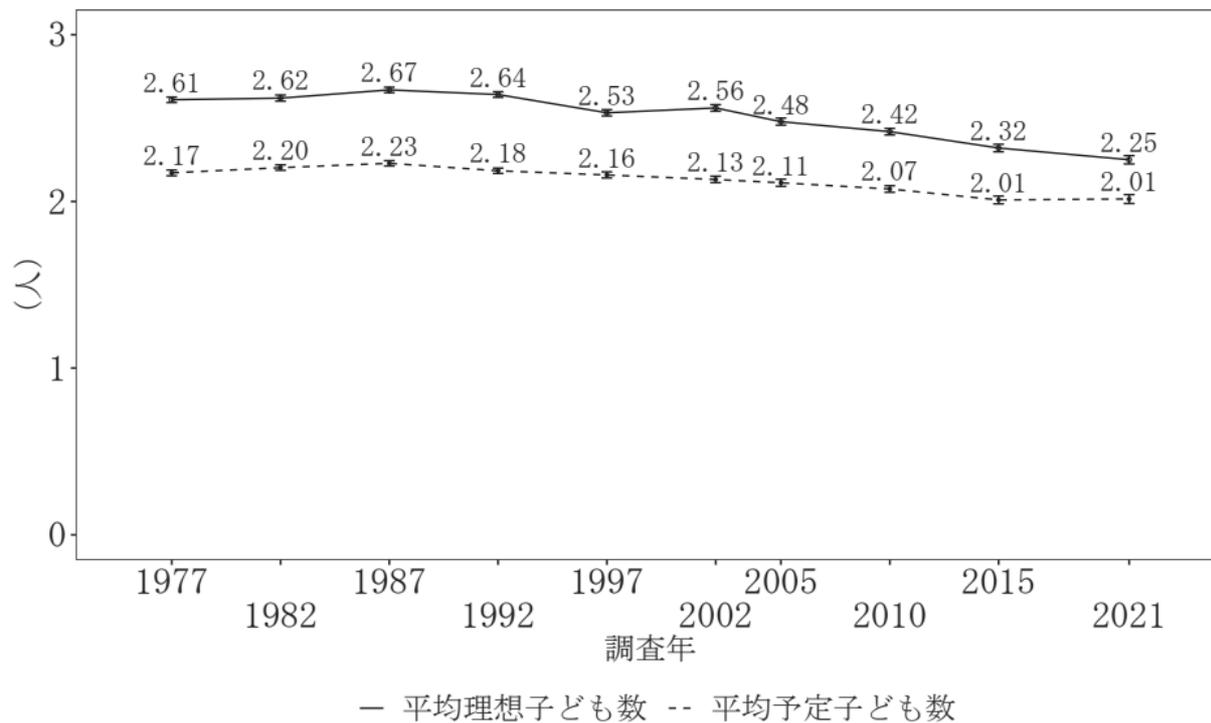
- 1 ケアラー支援が必要とされる社会的背景は何か。
- 2 今後、支援体制を充実させていくために行政としてどのように取り組んだらよいと考えるか。

※ケアラー：高齢、身体上又は精神上の障害又は疾病等により援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する者。ケアラーのうち、18歳未満の者をヤングケアラーという。

3 一般行政（DX）、一般行政（基礎能力検査枠）、福祉、心理、設備、設備（警察）、総合土木、建築、化学、農業、林業、薬剤師、獣医師、保健師、管理栄養士

別添の資料やあなたが日ごろ感じている社会に対する問題意識などを踏まえ、こどもを生き育てることに希望を持てる社会を実現するために、あなたが重要であるとする課題とその理由を論じるとともに、その課題の解決のために行政としてどのような取組を行うことができるかを、900字以上1,100字以内で論じなさい。

【資料 1】夫婦の平均理想子ども数と平均予定子ども数（全国）



（出典）国立社会保障・人口問題研究所「第16回出生動向基本調査」

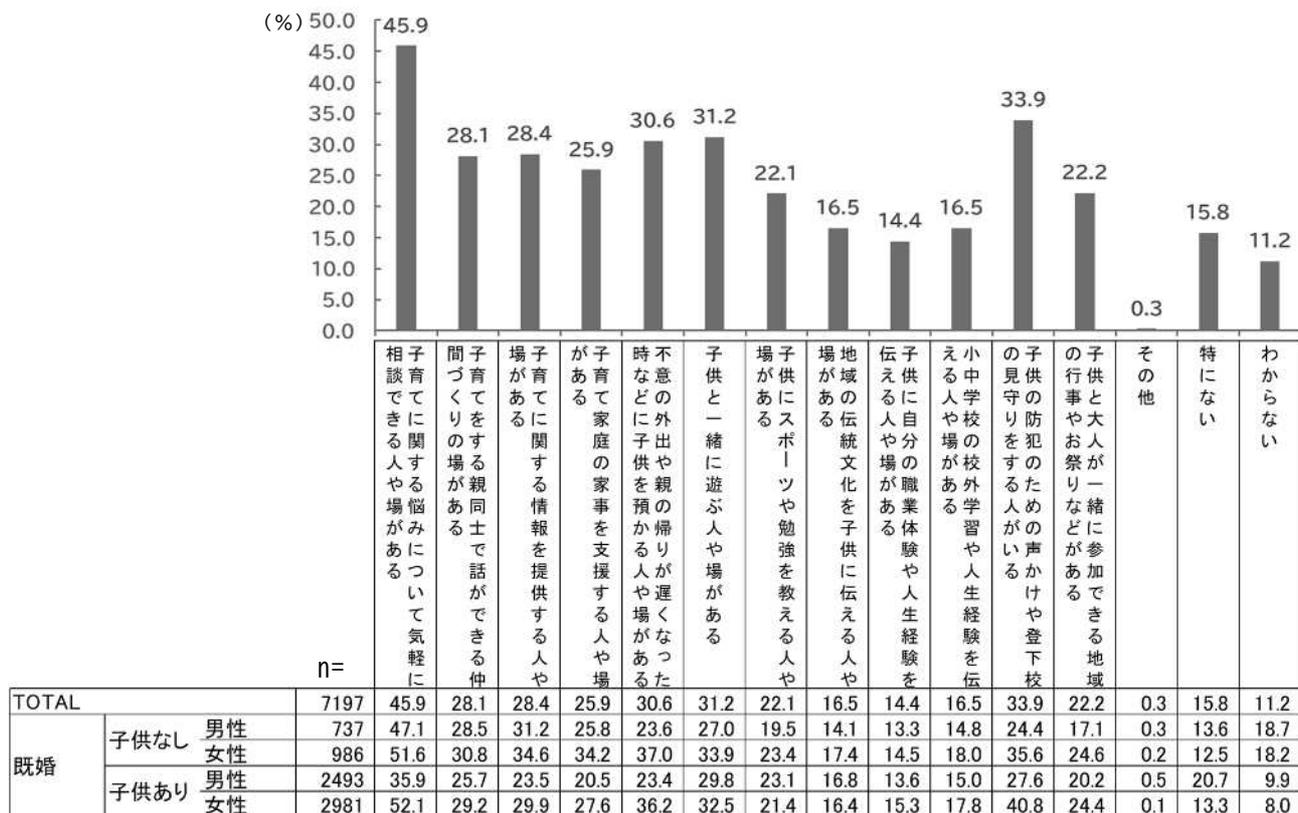
（備考1）対象は妻の年齢50歳未満の初婚どうしの夫婦。

（備考2）理想の子ども数及び予定子ども数は、「第16回出生動向基本調査」の設問に対する回答。

理想子ども数：「あなた方ご夫婦にとって理想的な子どもの数は何人ですか。」

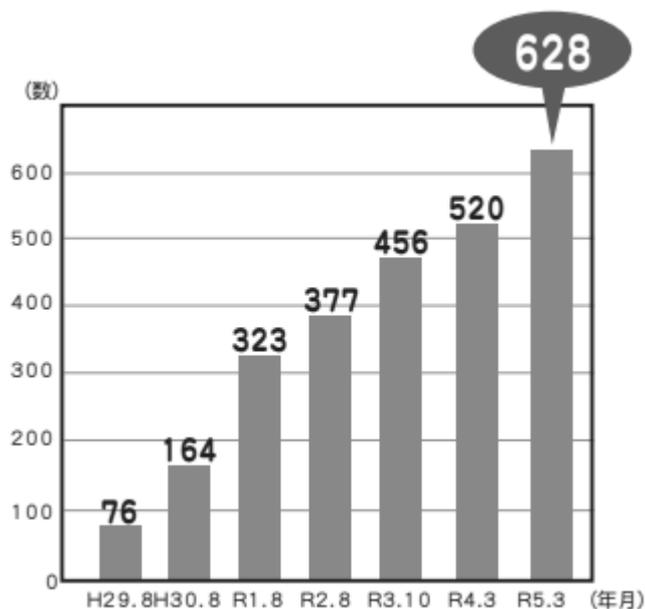
予定子ども数：「そうしますと、あなた方ご夫婦は全部で何人のお子さんを持つおつもりですか。」

【資料2】地域で子育てを支えるために重要だと思うこと（複数回答・全国）



(出典) 内閣府「少子化社会対策に関する意識調査」(平成31年3月)

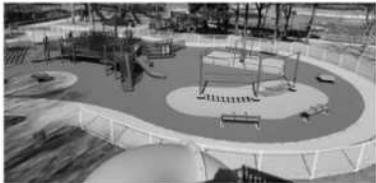
【資料3】埼玉県のこどもの居場所数



(出典) 埼玉県「『こどもの居場所』実態調査」(令和5年3月)

(備考) こどもの居場所とは、家でも学校でもなく居場所と思えるような場所。代表的な居場所として、こども食堂、無料塾、プレイパーク、多世代交流拠点等がある。

【資料 4】誰もが使いやすい公園づくり事業（大宮公園、こども動物自然公園）

事業概要			
1 誰もが使いやすい公園づくり事業(大宮公園、こども動物自然公園)	240,000千円		
<p>(1) 誰もが遊べる広場の整備（新規） 5,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> 遊具、休憩施設、トイレ、授乳室等を広場に一体的に整備し、子どもを連れた親子が移動することなく長時間、安全で快適に利用できる広場を整備する。 遊具については、障害の有無に関わらず遊べる遊具を選定し、誰もが遊べるインクルーシブな広場を目指す。 	 <p>【東京都「だれもが遊べる児童遊具広場」整備ガイドラインより】</p>		
<p>(2) 誰もが利用しやすいトイレの設置（新規） 235,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> おむつ替え台や子ども用トイレ、ベビーチェアを男女別トイレにも設置するとともに、防犯対策を強化するなど女性や子育て世代のニーズに対応した、誰もが利用できるトイレを整備する。 併せて、高齢者や知的・発達障害者等の異性による介助・同伴利用等、多様化するニーズにも対応する。 ピクトグラムにより、各トイレの機能を分かりやすく表示する。 			
【事業計画】			
	R6年度	R7年度	R8年度
①誰もが遊べる広場の整備 (大宮公園)	基本設計	詳細設計	工事
②誰もが利用しやすいトイレの設置 (こども動物自然公園)	詳細設計	工事	

（出典）埼玉県「令和6年度当初予算案における主要な施策」（令和6年2月）